



保健師

所属	山武保健所（健康福祉センター） 健康生活支援課
入庁年	2022年
異動歴	2022年 山武保健所（健康福祉センター） 健康生活支援課

1 仕事の内容は？

私は健康生活支援課で、当保健所管内の感染症・結核予防に関する仕事をしています。日頃の感染症発生状況の把握や患者への疫学調査・接触者調査、結核患者に対する服薬支援（DOTS）、HIV・性感染症検査、地域での感染症予防研修など、発生時の初動対応から予防まで、様々な場面で感染症対策に携わります。

2 志望理由は？

千葉県沿岸部で生まれ育ち、東日本大震災での被災経験を契機に、看護職に興味を持ちました。公衆衛生看護の重要性を学び、地域を広域的に見て健康危機に対処する保健所保健師として、地元の千葉県で働きたいと思うようになりました。

3 仕事のやりがいは？

受け持った患者さんが、その人らしい生活を大切にしながら、治療を完遂できた時は、自分ごとのようにうれしく、やりがいを感じます。それと同時に、感染症にかかわる地域住民の伴走者となる保健所保健師としての役割を実感しました。

4 印象に残った仕事は？

入庁後初仕事の、新型コロナウイルス感染症の対応業務です。コロナ対応は行動制限をかけることもあり、県民の皆様の協力が不可欠な業務であると同時に、健康を守る最前線で活動していることを認識し、身が引き締まる思いでした。

5 県職員として働くことで発見できた千葉県の新しい魅力は？

千葉県内には都市や海、緑など、様々な環境が共存しており、そこに魅力があると感じます。地元は沿岸部、大学は都市部で過ごし、現在は郡部に勤務していますが、その中で、地域によって特産物や観光名所の性質も異なり、ひとつの県の中で幅広く楽しめる要素を持っていることを改めて感じています。

6 職場の雰囲気は？

保健所は、食品・環境衛生、結核・感染症対策、医事・薬事などを担当する技術職が多く所属する特徴的な職場です。また、保健師については、結核・感染症対策の他に、難病対策や生活習慣病対策を担当する職員もいます。特に山武保健所は年代やキャリアも様々で、事務所がワンフロアの構造上、他課とのコミュニケーションが図りやすい環境でもあります。他職種でいろいろな視点から意見交換をしながら、互いに協力して業務にあたっています。

7 休日や退庁後の過ごし方は？

休日は、家でリラックスして過ごすことが多いです。異動後も仲良くしていただいている他の職場の先輩と食事をすることもあります。

8 一日のスケジュール

- 8:30 ● 出勤 メール確認やスケジュール調整
- 9:30 ● 課内会議で研修企画等の進捗報告・結核接触者検診の検討
- 10:30 ● 感染症発生時の届出受理、電話調査
- 12:00 ● 昼休憩
- 13:00 ● 資料・防疫日誌作成
- 14:00 ● 結核患者さんの家庭訪問、
内服確認（DOTS）
- 15:30 ● 訪問記録・事務処理
- 17:15 ● 退庁

